

設問手法

一般的な適性検査の設問の特徴

Q. 答え方で結果が操作できるのでは？

受検者は設問の意図が容易に推測でき、正確な回答を得ることが困難。

＜一つの設問で、一つの因子を探る方式＞

- Q1. 知らない人と会うのは勇気がいる。
はい いいえ どちらともいえない
- Q2. 自分の気持ちをはっきり表すのは苦手である。
はい いいえ どちらともいえない
- Q3. 社交的なほうである。
はい いいえ どちらともいえない

受検者のバイアスがかかっている可能性が高く、信頼性に欠ける。

- Q1 A 私は人見知りをよくする
B 誰とでもすぐ仲良くなれる
- Q8 A 何事にもしり込みするほうだ
B 人とつき合うことが好きだ
- Q36 A 思ったことをはっきり表すのは苦手なほうだ
B 思ったことをはっきり表すのは得意なほうだ

CUBICの設問の特徴（一設問多因子方式）

【設問例】

Q1. ちょっとしたことでも、人と違ったやり方を考える。

Q2. 話し合いの場では、みんなが発言できるような雰囲気づくりに努める。

非常にそうだ
かなりそうだ
少しそうだ
いいえ
1-2-3-4
1-2-3-4

回答者の行動の微妙な差異を計量するため、回答が偏りがちな「はい」と「いいえ」の二択、「どちらともいえない」といった中間回答を排除。Q1で仮に「自主性」という因子を検査していると予想し「非常にそうだ」と回答した場合、確かに「自主性」はプラス得点です。さらに「競争性」という因子もプラス得点です。しかし、この設問には「協調性」「従順性」という因子も含まれておりこれについてはマイナス得点となってしまいます。これがCUBICの特長です。つまり、一つの設問に性質の異なる四つの因子を設定している点です。さらに他の同傾向の設問との関連性もチェックしてつじつまの合わない回答をした場合は、信頼係数の点数が減点されるようになっています。すなわち、検査結果を予想しながら回答することができないようになっているのです。これが信頼性を極めて高くしている秘密のひとつです。

検査結果用紙（例）

CUBIC 個人特性分析

2017/06/05 20170519 採用

1 どのような性格・パーソナリティか

型	性格の傾向	強	弱	指数
思考型	内閉性 社交意識が低い	■■■■■	■■■■■	68
活動型	気分性 感情のまま行動	■■■■■	■■■■■	47
競争型	競争性 競争心・競争的	■■■■■	■■■■■	41
従順型	従順性 従順心・従順的	■■■■■	■■■■■	58
協調型	協調性 協調心・協調的	■■■■■	■■■■■	53
自閉型	自閉性 自閉心・自閉的	■■■■■	■■■■■	39

■この人の中心傾向は「思考・内閉性」および「競争・自尊心」であるが、「自閉・従順性」や「活動・気分性」といった側面も本人は意識している。

●「思考・内閉性」及び「競争・自尊心」の人のパーソナリティスケッチ
人と接触したり、話をしたりするよりも、ひとりで空想に耽りながら幸せを感じているような印象を受ける。ちょっとした生活ぶりを思えば、つまみどころがないという印象もあるが、自分の生活の持ち主で、審美的な生き方をしているともいえる。物事の判断は本能的というより、主観的にとらえる傾向が強い。この傾向が過度に強まると、周囲の人と人間関係が築けなくなる。また、行動も周囲の人から、意識して、避けることにはならない。周囲の批判や非難も受け止めることがない。また、行動も周囲の人から、意識して、避けることにはならない。周囲の批判や非難も受け止めることがない。

●もう一方の性格特性
規則や秩序を気にせず、自由奔放な行動をとる。常識的、前定的な発想ばかりでなく、柔軟な考え方ができ、柔軟に物事を進めようとする。また、柔軟な考え方ができ、柔軟に物事を進めようとする。

2 どのような関心事・興味領域を持っているか

興味領域	強	弱	指数
日常用品	■■■■■	■■■■■	66
音楽・科学	■■■■■	■■■■■	37
社会・経済	■■■■■	■■■■■	42
心身・健康	■■■■■	■■■■■	41
恋愛・芸術	■■■■■	■■■■■	62

■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「実力を発揮し、成長したい」系統の欲求群となっている。

3 基礎的な職場環境での社会性

項目	強	弱	指数
信頼性	■■■■■	■■■■■	46
協調性	■■■■■	■■■■■	56
責任感	■■■■■	■■■■■	46
自己信頼性	■■■■■	■■■■■	47
指導性	■■■■■	■■■■■	47
気感性	■■■■■	■■■■■	47
従順安定性	■■■■■	■■■■■	63
従順性	■■■■■	■■■■■	43
自主性	■■■■■	■■■■■	59
43175傾向	■■■■■	■■■■■	38

■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「実力を発揮し、成長したい」系統の欲求群となっている。

4 どのようなことに意欲・やる気をだすか

項目	強	弱	指数
達成 欲求	■■■■■	■■■■■	49
自律 欲求	■■■■■	■■■■■	46
求知 欲求	■■■■■	■■■■■	50
危機 耐性	■■■■■	■■■■■	50
競争 欲求	■■■■■	■■■■■	50
顕示 欲求	■■■■■	■■■■■	52
親和 欲求	■■■■■	■■■■■	49
秩序 欲求	■■■■■	■■■■■	44
秩序 欲求	■■■■■	■■■■■	31
物質 欲求	■■■■■	■■■■■	43

■この人は「人より優位に立ちたい」系統の欲求群が一番強く、ついで「実力を発揮し、成長したい」系統の欲求群となっている。

診断分析

2017/06/05 20170519 採用

【心理素イメージ】

意欲の強さ：競争性
 職の適性：達成欲求
 真の高さ：顕示欲求
 意の強さ：競争性

意欲の強さ：競争性
 職の適性：達成欲求
 真の高さ：顕示欲求
 意の強さ：競争性

意欲の強さ：競争性
 職の適性：達成欲求
 真の高さ：顕示欲求
 意の強さ：競争性

【自己評価】

意欲・やる気	管理・対人能力	思考能力
競争 欲求	決断力	決断力
達成 欲求	計画力	計画力
顕示 欲求	自己表現力	自己表現力
親和 欲求	対人関係力	対人関係力
秩序 欲求	組織力	組織力
物質 欲求	経済力	経済力

意欲性・安定性 = -1
 CUBICの判定結果 = 「B」

【判定結果A】予測推定値（見所）

項目	指数
(1) 一般的職場状況での可能性	29
(2) 操作など精神的な必要な職務	23
(3) 足腰のよさが武器になる職務	26
(4) 集中力、徹底性の必要な職務	37
(5) 標準化された仕事や工場労働	34

【判定結果B】本人の傾向

「内閉型傾向」
 「活動型人間」

【判定結果C】大まかな職業興味領域とその方向性

(1) 「達成」事業、創作、文章など芸術的な仕事や活動
 (2) 「努力」研究、読書の仕事や活動の領域
 (3) 「努力」研究、読書の仕事や活動の領域
 (4) 「努力」研究、読書の仕事や活動の領域
 (5) 「努力」研究、読書の仕事や活動の領域
 (6) 「努力」研究、読書の仕事や活動の領域

【判定結果D】配置適性1

【適性の高い順】
 (1) 「努力」基礎研究
 (2) 「努力」基礎研究
 (3) 「努力」基礎研究
 (4) 「努力」基礎研究
 (5) 「努力」基礎研究
 (6) 「努力」基礎研究

【判定結果E】配置適性2

【適性の高い順】
 (1) 「努力」基礎研究
 (2) 「努力」基礎研究
 (3) 「努力」基礎研究
 (4) 「努力」基礎研究
 (5) 「努力」基礎研究
 (6) 「努力」基礎研究